

～ 最期まで笑顔で過ごせる“健幸”なシマづくり ～

「地域包括ケアシステム」って何？

高齢化が進むなか、年齢を重ねても、できるだけ元気でいられるよう健康寿命を伸ばすことが大切です。しかし、努力をしても、誰もが病気や障害を持たないとは限りません。そんなときも、隣近所の声かけ、助け合いがあり、必要なときには介護や医療の支援を受けて、安心してお家での生活を続けることができます。

そんな「地域まるごとの支援」の仕組みが「地域包括ケアシステム」です。

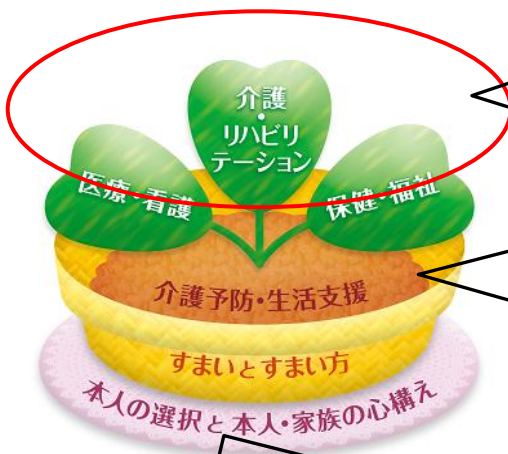


隣近所で気にかけて、助けあえるシマの良さを次世代につなぐこと、困りごとを「助けて」と言えること、必要な支援につながり、地域と専門職の自分ネットワークを作ることが、徳之島ならではの地域包括ケアシステムの姿ではないでしょうか。

人ごとではなく、みんなが自分ごととして考えることが大切です。

それぞれの「選択と心構え」の一助となるように、この通信を発行します。

「地域包括ケアシステム図」



【専門職による支援】

ご本人の「どのように暮らしたいか」という気持ちを基本として、専門職によるサポートや、チームで必要な支援を行っていきます。

【地域での介護予防と生活支援】

身近な地域の中での通いの場・居場所、生きがい・役割があることが「健康寿命を保つ」ためにも大事なことです。地域で支えあい、誰もが、お互いさまの関係で「ありがとう」と言われる元気高齢者を目指したいものです。

【本人の選択が最も大事！】

どこで、どのように暮らしたいか、最期をどのように過ごしたいか？ご本人の意思と選択が基本です。

年齢に関係なく、元気なうちに、日ごろからご家族や身近な人と話しておくこと、考えを伝えておくことが大切です。

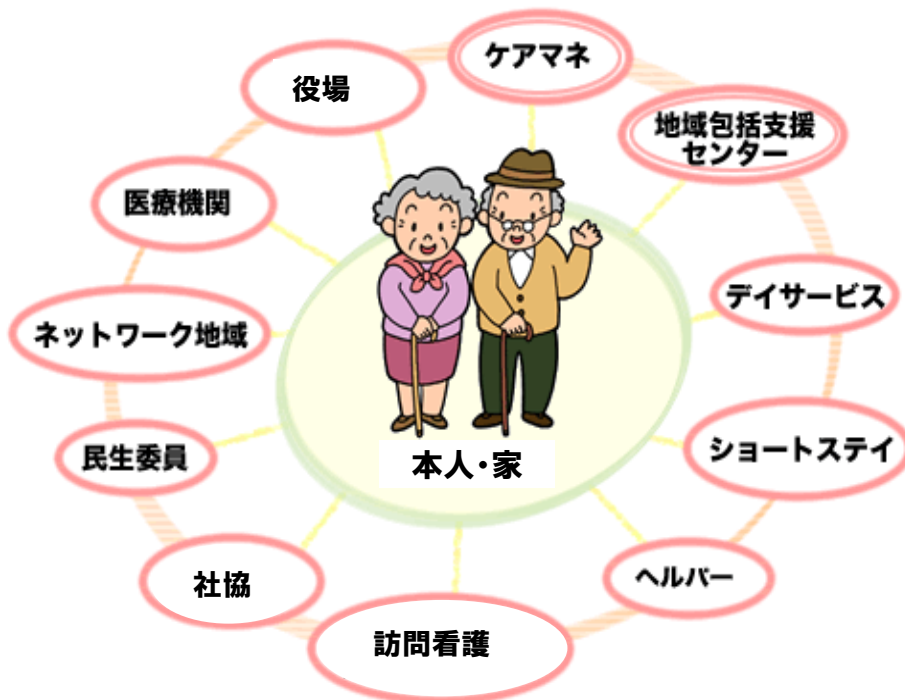
◆「在宅ケア」という選択◆

自宅でのケアについて、どのようなイメージをお持ちですか？

徳之島では、6割以上の方が、最期まで自宅で過ごしたいと思っています。しかし、実際に自宅で最期を迎えられる方は、現在は15%くらいです。

「できるだけ、住み慣れた自宅で過ごしたい」というご本人の気持ちがあれば、地域のさまざまな機関や専門職がチームとなり、ご本人やご家族を支えます。

住み慣れた家だからこそ、自分らしい豊かな時を過ごすことができる方も多いのです。



みんなで在宅での生活を支えます

■ 在宅ケアに関する相談先 ■

【 主治医・看護師 】

在宅療養の相談
訪問診療・訪問看護の利用相談

【 地域包括支援センター 】

在宅医療・介護に関する情報の提供
生活支援や介護支援に関する相談・利用
手続き

【 各病院の医療ソーシャルワーカー 】

各種制度の利用や、退院に向けての
連絡調整

【 居宅介護支援事業所のケアマネジャー 】

介護保険サービスの利用について
要介護認定者に関する相談・調整